#

**レニショー、「EMOハノーバー2011」展に向けて新製品を発表**

世界的なエンジニアリング技術会社、レニショーは、9 月 19 ～ 24 日に開催されるドイツの EMOハノーバー展で展示を行う新製品を発表しました。 これらの製品には、CNC 工作機械のプロセス制御に役立つタッチプローブとソフトウェアシステム、三次元測定機（CMM）用の新しい表面仕上げ計測プローブも含まれています。

これらの新しい計測製品は、伝統的な専用ゲージに変わる画期的な新システム、新シリーズの積層造形技術、CMM 用 5 軸プローブなど、既に発表されているその他の主要製品と共にデモを行う予定です。

**マシVニjン?グNセZン?タ^ー[向け?の抪sバnー[ジVョ?ン?の? PC 用計測ソu12501 トウェア**

EMO 2011 では、CNC 加工プログラムに計測およびプロセス制御機能を統合する独自のソフトウェアソリューション、Productivity+™ もご紹介します。 従来の方法に比べて多大な利点を備えた Productivity+ は、計測サイクルを G コードに手動で追加する必要性を排除しており、既存の CAM ユーザーにとってお馴染みのインターフェース内で、インポートした立体モデルからポイント＆クリック方式で形状を選択することができます。

機上測定を使用して製造プロセスを制御するための最強のツール、Productivity+ のバージョン 1.90 は 2011 年秋季にリリースが予定されており、既存の機能性と柔軟性を更に拡張しながら、組み立てステートメントの機能を追加し、多軸機能、レポート機能、カスタムマクロ機能を向上させています。

CMM 上での表面粗さ測定の完全自動化を可能にする新センサー

レニショーでは、革新的な REVO® 5 軸計測システムに新しいプローブオプションを追加し、初めて CMM 測定ルーチンに表面粗さ測定を完全統合できるようにしました。 6.3 ～ 0.05 Ra の測定能力を備える SFP1 表面仕上げプローブを使用すると、独自の単一プラットフォームが得られるため、ハンドヘルドセンサーを使用したり、高額な表面粗さ測定専用機にパーツを移動したりする必要がなくなり、人件費と検査のリードタイムを低減することができます。 さらに EMO ハノーバー展では、CMM でパーツスキャンと表面粗さ測定の自動切換えを行う方法と、すべての解析情報を網羅した単一測定ポートについてもデモを行う予定です。

レニショーの一連の計測機器の詳細については、www.renishaw.com をご覧ください。

以上